

令和元年度 事業報告

自 平成31年4月1日
至 令和2年3月31日

概 要

(公社)飛驒法人会は公益性と透明性の充実に図り、「法人会の理念」が示すとおり、よき経営者を目指すものの団体として ①研修会などの開催による会員の積極的な自己啓発を支援し、企業の健全な発展に資するとともに ②小・中学校の児童・生徒への租税教室の開催 ③税金クイズ等による税知識の普及など公益目的事業にも積極的に取り組んできたところである。また、今年度は定時総会と同時に社団化40周年事業として式典及び記念講演・懇親会を実施し、今後の飛驒法人会の躍進を誓い同時に会員相互の親睦を深めました。

なお、令和2年3月に入って新型コロナウイルス感染症予防の観点から、一部事業が中止となったものがあった。

1 組織の現状

令和元年12月末における会員数は1,569社（前年同期比49社減少）で加入率は41.8パーセント（前年同期比1.2ポイント減少）となり、県平均値（45.0%）を3.2ポイント下回り、依然として会員減少傾向が進んでいる。

役員による会員勧奨、保険会社の団体保険の加入を通じた会員増強策を通じてより一層の推進を図る必要がある。

2 事業の実施計画

(1) 公益目的事業

青年部会・女性部会による小学校児童・中学校生徒への租税教室、税を考える週間行事の税金クイズ、及び会報誌・ホームページでの税知識の普及活動など、対象を非会員にも拡大して取り組んできた。また、講演会の開催、地域イベントへの協賛、福祉施設への寄付や訪問など、社会貢献活動にも積極的に取り組んできた。

税務研修会を開催し、一般の参加者も募り、税知識の普及に努めてきた。

(2) 会員支援等事業

総会時の懇親会などの会員交流、全日本労働福祉協会による健康診断、並びに協力保険3社提供の福利厚生制度の推進に努めた。

3 行事内容（月別会議・研修会等・県連行事等）は次頁の通り